



方 永義

RSテクノロジーズ社長

「特集」我がベンチャーポー

ほう・ながよし 1970年生まれ、中国・福建省出身。城西国際大学大学院修了。99年永輝商事設立。2006年同社社長。10年RSテクノロジーズを設立し、社長就任。同社は15年マザーズに上場を果たす。14年7月に日本国籍を取得。

シリコンウエハー再生で世界一 夢は大きく売り上げ規模1兆円

シリコンウエハー再生のトップ企業、 世界シェア第1位

「再生ウエハー」といっても大半の人がピンとこないだろう。

シリコンウエハー再生のトップ企業、世界シェア第1位のRSテクノロジーズを率いる方永義社長は日系3世の中国出身者（現在は日本国籍を取得）。日本に憧れ日本に留学。そのまま日本でビジネスを立ち上げた。「努力すれば必ず事業は成功する」との言葉どおり、同社を上場に導くが、この程度で夢は終わらない。今後は新規事業を立ち上げ、売上高1兆円という大きな夢に向かって突き進む。

シリコンウエハー再生のトップ企業、世界シェア第1位のRSテクノロジーズを率いる方永義社長は日系3世の中国出身者（現在は日本国籍を取得）。日本に憧れ日本に留学。そのまま日本でビジネスを立ち上げた。「努力すれば必ず事業は成功する」との言葉どおり、同社を上場に導くが、この程度で夢は終わらない。今後は新規事業を立ち上げ、売上高1兆円という大きな夢に向かって突き進む。

シリコンウエハー再生のトップ企業、世界シェア第1位のRSテクノロジーズを率いる方永義社長は日系3世の中国出身者（現在は日本国籍を取得）。日本に憧れ日本に留学。そのまま日本でビジネスを立ち上げた。「努力すれば必ず事業は成功する」との言葉どおり、同社を上場に導くが、この程度で夢は終わらない。今後は新規事業を立ち上げ、売上高1兆円という大きな夢に向かって突き進む。

れていたが、コスト削減のために再生技術が開発され、表面を新品种同様に精密加工し何度も使われるようになつた。一般的に再生加工費は新品価格の4分の1程度。ウエハー全体の需要の20%が再生ウエハーの需要といわれるから、リサイクルによる削減効果は大きい。

RSテクノロジーズはこのウエハーリの再生事業で世界トップを走っている。経営するのは方永義。日系3世の中国出身者である（現在は日本国籍を取得）。

「山口百恵さんのドラマを見て育つたので、いつか日本へと思っていました。初来日したのは16歳の時。なんて清潔な国だと思いました」

当初は2年間、勉強して帰国する予定だったが、大学、大学院と日本で過ごす。その傍ら、秋葉原で中古パソコンを購入し中国に送って小遣い稼ぎをしていた。大学院卒業後は貿易業務を学ぶためタイヤ回収企業に入社。半年で業務に習熟したと自ら判断し、独立、永輝商事を設立した。以来同社は17年間現在に至るまで黒字経営を続け業容を拡大している。現在は太陽光発電や半導体事業

から資源リサイクルまでを手掛けるグループの中核企業に成長した。

ウエハーサイクル事業は永輝商事在職中（代表）M&Aによって手に入れたものだ。もともと100年以上の歴史を持つ老舗化学メーカー、ラサ工業が同事業を行っていたものだ。

ウエハーを再生加工する工程には半導体製造工程で焼き付けられた表面膜を剥離する加工があるが、ラサは化学メーカーだけあって、そのための薬液加工技術が他社に比べ優れていた。しかも取り代を少なく加工することができるため、10回以上繰り返し使うことが可能だ。また焼き付けられた表面膜に銅が含まれている場合、取り除くことは極めて困難だが、ラサの技術は完璧に取り除くことができる。こうした技術的優位性により、同社はウエハーサイクルで世界シェアトップに立つ。

「いいい」

ところが、契約の3ヵ月後、東日本大震災によって主力工場の三本木工場（宮城県）が被災する。人的被害はなかつたものの機械装置とインフラの損害を受け、半年間生産がストップした。

「この時は頭が真っ白になつてしましました」

しかし、方は当時政府が発表した雇用対策（在宅待機へ6割給付）を受けず、給料を全額払い続けることを決断する。製造ができるために売り上げは立たない。当然、この間

買収後3カ月で大震災 主力工場が3カ月閉鎖

ところがリーマンショックがラサ

工業を直撃する。過大投資が裏目に出た結果が悪化、事業の整理・見直

方はその時、次のように決意した。
「シリコンウエハーに関する知識は全くありませんでした。でも経営はどの業種も一緒。ひたすら頑張ればいい」

しを行つた結果、ウエハーサイクル事業から撤退を決断、方が買収することが決ました。それにより生まれたのがRSテクノロジーズだ。社名の「RS」は「ラサ」をアレンジしたものだ。

私はその時、次のように決意した。
「シリコンウエハーに関する知識は全くありませんでした。でも経営はどの業種も一緒。ひたすら頑張ればいい」

2016年9月、東証1部に上場した
(左が方社長)



に手配した支援物資、および給料の支払いを続けることで、みんなの気持ちが一つになった気がします。半年後には工場が再開、生産を開始し、12年春に単月黒字を計上できました。これも皆のお陰です」

災い転じて福となすという。多大な被害をもたらした震災だったが、結果的に結束力という何物にも代えがたい宝を得ることに成功した。

そしてここからが方の真骨頂。今まで蓄積したネットワークを通じて販路を拡大していった。いまや取引先は世界中の半導体メーカーに広がった。それと同時に製造工程を見直すことでの月産9万枚だった生産能力を16万枚にまで増やすことに成功する。

「多くの日本企業と共にするのは、製品がオーバースペックに陥りがちなことです。それがボトルネックとなるて生産能力が限定されてしまつている。これを見直すだけで、生産を増やすことが可能です」

日本のモノづくり品質が世界一であることは誰もが認めるところ。しかしそれはややもすると、作り手側の自己満足で終わることもある。R

Sテクノロジーズも同様だった。シリコンウエハーの素人の方にしてみれば、なぜそこまでのオーバースペックが必要なのか疑問に感じるところがあった。そこを指摘し、修正しただけで、生産量は拡大した。

技術的優位に加え生産性の大幅向上、そして販路拡大が相まって、RSテクノロジーズの業績は大きく拡大。15年には新設の台南工場（台湾）が稼働したこと、買収時には19%だった世界シェアは30%にまで昇っている。これを今後40%にまで伸ばしたいと方は言う。

15年3月には東証マザーズに上場し16年9月には1部へ昇格も果たした。初値をつけたあと、株価は一時低迷したが、1年前から上昇に転じ、2千円前後だった株価は現在6千円ほどと大きく値を伸ばしている。

「上場によって景色が違つてきました。得た資金で設備投資ができるだけなく、人材確保も容易になりました。これを見直すだけで、生産を増やすことが可能です」

方はRSテクノロジーズ以外にも、複数の日本の製造業を買収し、いず

れも再生に成功している。

「日本の製造業の技術は本当に優れています。これは世界に誇るべきものです。ところが残念なことに、世界に向けて発信ができていない。

そのため販路が限られてしまう。私たちのグループに入れば販路は世界に広がります。しかもオーバースペックな部分の改善や、市場との向き合いなどサポートできるところも多い。日本の技術と世界のマーケット。これをうまくマッチングして、日本の技術をもっと世界に発信していきたいと思います」

方は有言実行の経営者だ。RSテクノロジーズでも立てた目標をすべて実現してきた。その実績があるだけに、荒唐無稽に思える目標も、方が口にしたのなら、もしかしたら実現できるのではないかと思ってしまう。これは社員も同様で、可能性を信じて前向きに方の言葉を受けている。それがさらなる成長につながってきた。

日本の中堅企業ではなく世界の会社を目指す

しかし方の夢はこの程度にとどまらない。RSテクノロジーズを「1兆円企業にしたい」というのだ。同社の前12ヶ月期の売上高は88億円。1兆円といえば100倍以上になるわけだから、大風呂敷もいいところだ。

信用力が増しています。さらには、持ち込まれる案件も全く違つてきました。得た資金で設備投資ができるだけなく、人材確保も容易になりました。これを見直すだけで、生産を増やすことが可能です」

ヤンスを生かし常にステージを上げて行けば不可能な数字ではありません。これが方の最大の魅力であり、パワーの根源だ。

最後に方の仕事への向き合いか紹介する。

「もともと仕事が大好きで、人の倍働くのは当たり前。人の30倍働けば、ものすごいパワーが生まれる。とにかくひたすら頑張れば、事業はかならず成功する」

最近の日本ではあまりお目にかかるのだが、方はいたつて真剣だ。できるのだが、方はいたつて真剣だ。

「時代は日々進化しています。チヤンスを生かし常にステージを上げて行けば不可能な数字ではありません。これが方の最大の魅力であり、パワーの根源だ。

